

与謝野町公共施設白書

<< 概要版 >>



～目次～

- はじめに 公共施設白書とは？（P2）
- その1 与謝野町の公共施設基本情報（P3～P6）
- その2 与謝野町の公共施設の整備状況（P7）
- その3 与謝野町の公共施設の老朽化状況（P8）
- その4 与謝野町の公共施設のコスト状況（P9）
- その5 与謝野町の公共施設の将来にわたるコスト（P10）
- その6 与謝野町の現状と将来（P11～P12）
- その7 主な施設カテゴリーごとの課題等（P13～P14）

平成27年9月
京都府与謝郡与謝野町

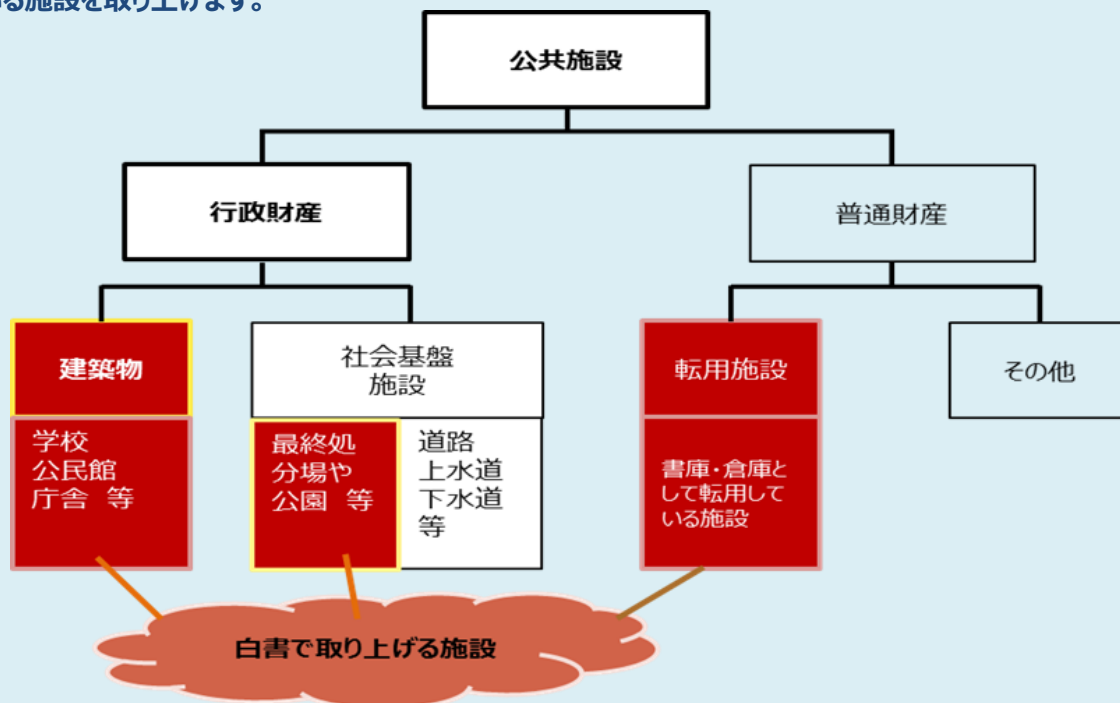
はじめに 公共施設白書とは？

与謝野町が所有し管理・運営する公共施設は、庁舎や小学校、中学校、保育所、公民館やスポーツ施設、観光施設などがあり、それぞれの所管課で管理していますが、それらの全体像を総合的にまとめた資料がありませんでした。

公共施設白書は与謝野町の公共施設の現状を様々な角度から分析しお示しするものです。今後の公共施設のあり方を考える「公共施設マネジメント」を進める上で重要な資料になります。

【与謝野町公共施設白書で取り上げる公共施設】

本白書では主にハコモノと言われる行政財産の建築物と、社会基盤施設の最終処分場や公園、普通財産の中でも本来の用途から転用されて、倉庫や書庫として活用している施設を取り上げます。



※「公共施設等総合管理計画」策定の際には、道路や上下水道の社会基盤施設も含めます。

※普通財産のその他は用地等です。

その1 与謝野町の公共施設基本情報（26のカテゴリーと施設数と延床面積）

26カテゴリー、197施設 総延床面積135,778.9㎡

○地区公民館
各区の公民館等
施設数：20
延床面積：7,148.4㎡

○大規模集会施設
中央公民館、わーくばる等
施設数：4
延床面積：6,932.4㎡

○その他集会施設
算所会館、若者センター等
施設数：9
延床面積：2,526.8㎡

○都市公園
都市計画区域の都市公園
施設数：9
延床面積：356.3㎡

○大規模公園
阿蘇シーサイドパーク等
施設数：3
延床面積：467.5㎡

○多目的広場
いきいきふれあい広場等
施設数：2
延床面積：0㎡

○スポーツ施設
体育館、グラウンド等
施設数：13
延床面積：6,012.2㎡

○文化施設
文化財、資料館等
施設数：12
延床面積：4,847.6㎡

○図書館
図書館及び分室
施設数：3
延床面積：846.3㎡

○体験・レクリエーション施設
観光施設等
施設数：15
延床面積：9,451.0㎡

○生産加工施設
冷凍米飯加工施設等
施設数：6
延床面積：2,546.1㎡

○有線テレビ放送等施設
CATVセンター等
施設数：3
延床面積：526.5㎡

○環境衛生施設
衛生プラント、最終処分場等
施設数：10
延床面積：1,638.1㎡

○保育所・幼稚園
施設数：10
延床面積：8,506.0㎡

○小学校
施設数：9
延床面積：31,425.0㎡

○放課後児童施設
学童保育園舎、児童館
施設数：3
延床面積：364.0㎡

○中学校
施設数：3
延床面積：17,759.0㎡

○診療所
診療所、リハビリ棟等
施設数：3
延床面積：559.9㎡

○給食センター
施設数：1
延床面積：764.0㎡

○保健センター
施設数：2
延床面積：2,001.8㎡

○町営住宅
町営住宅、教職員住宅
施設数：24
延床面積：15,748.9㎡

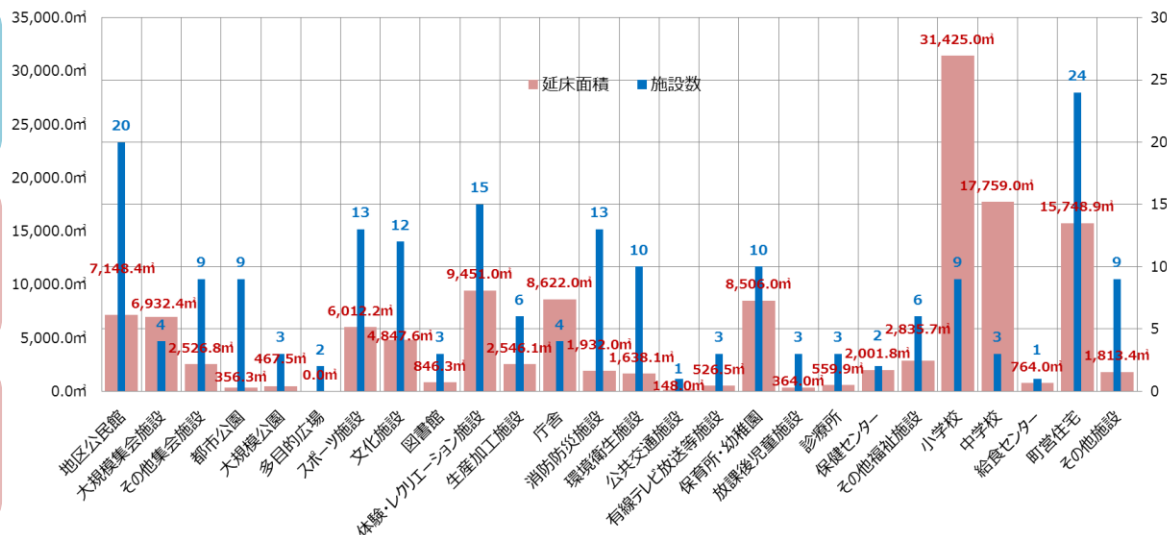
○庁舎
与謝野町役場、各庁舎
施設数：4
延床面積：8,622.0㎡

○消防防災施設
消防団詰所・車庫
施設数：13
延床面積：1,932.0㎡

○公共交通施設
与謝野駅
施設数：1
延床面積：148.0㎡

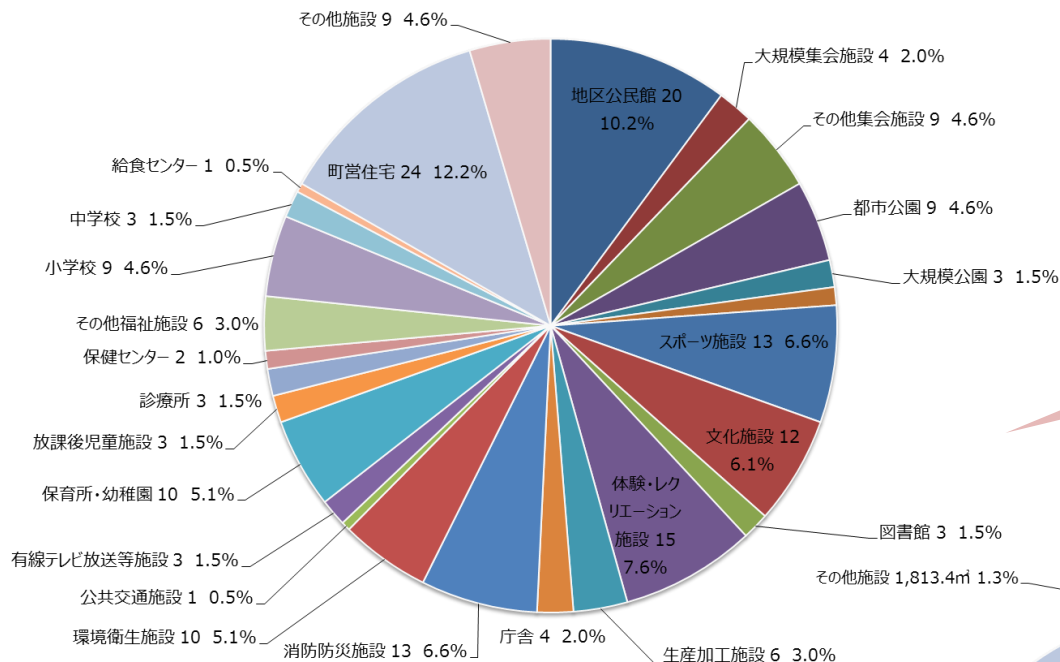
○その他福祉施設
ふれあいセンター等
施設数：6
延床面積：2,835.7㎡

○その他施設
公用車車庫、倉庫等
施設数：9
延床面積：1,813.4㎡



その1 与謝野町の公共施設基本情報（カテゴリーごとの比較）

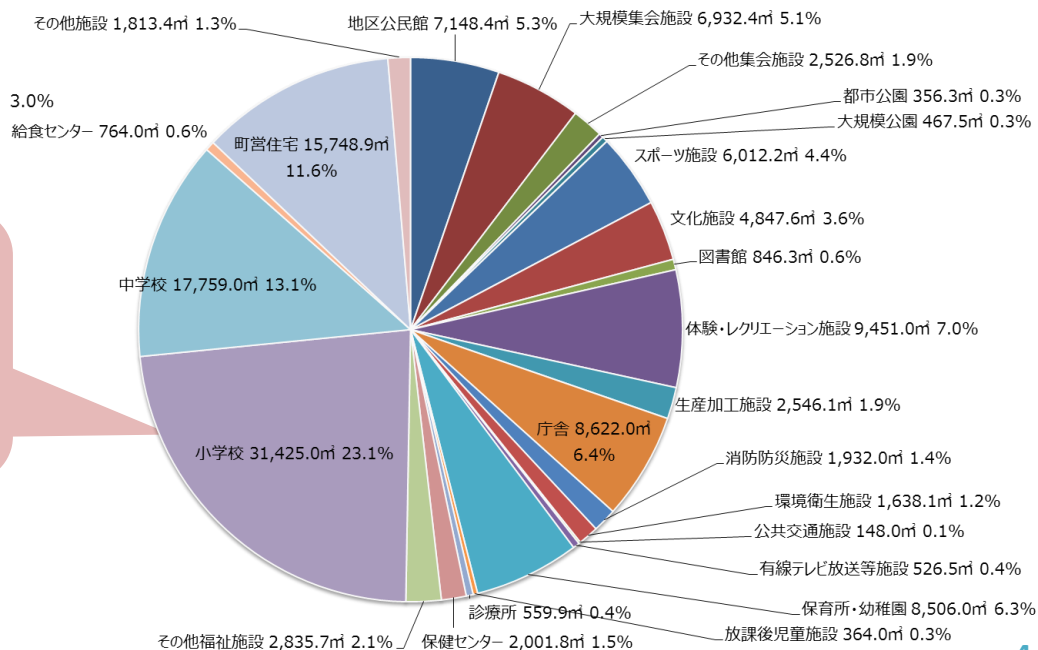
【公共施設数比較グラフ（施設カテゴリー比較）】



施設数で比較すると公営住宅と地区公民館、消防団詰所・車庫等の消防防災施設が多くなっています。

スポーツ施設も多く、体育館・グラウンド・テニスコートは旧町ごとに設置されています。

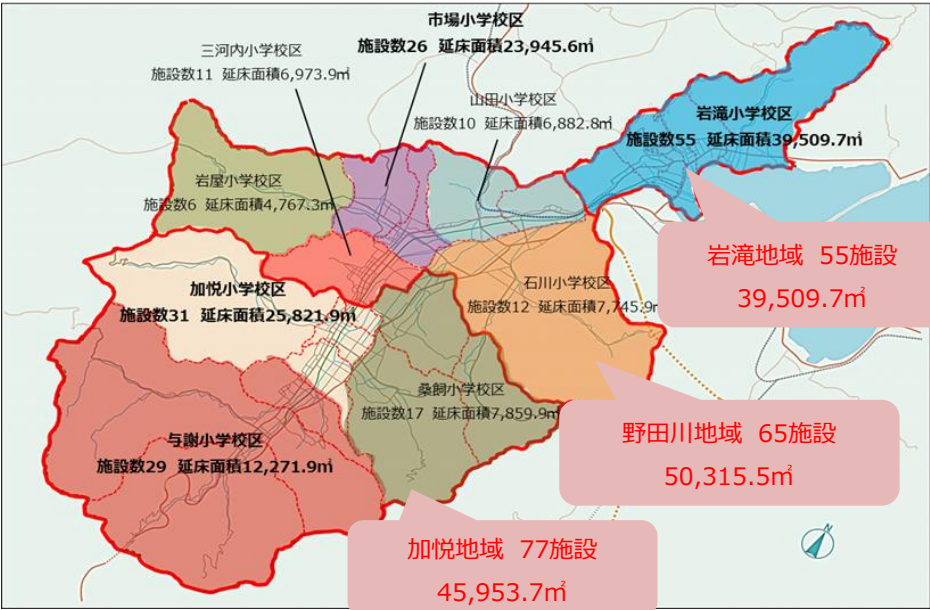
【公共施設延床面積比較グラフ（施設カテゴリー比較）】



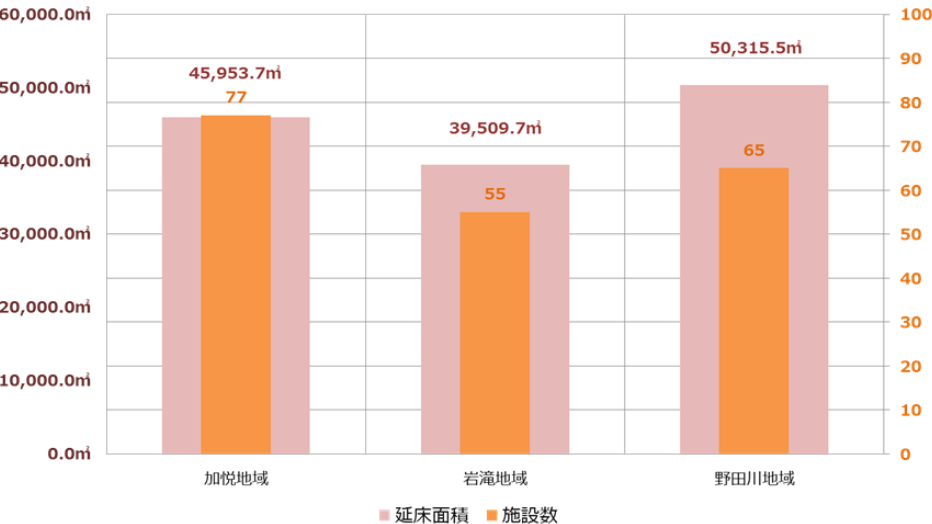
延床面積比較をすると、やはり学校施設の割合が大きく小中学校合計で36.2%となっています。次いで公営住宅が10%を超える割合になっています。

その1 与謝野町の公共施設基本情報（施設の配置）

【公共施設分布（小学校区）】



【公共施設の配置比較グラフ②（旧町：延床面積/施設数）】



【公共施設地域別一覧】

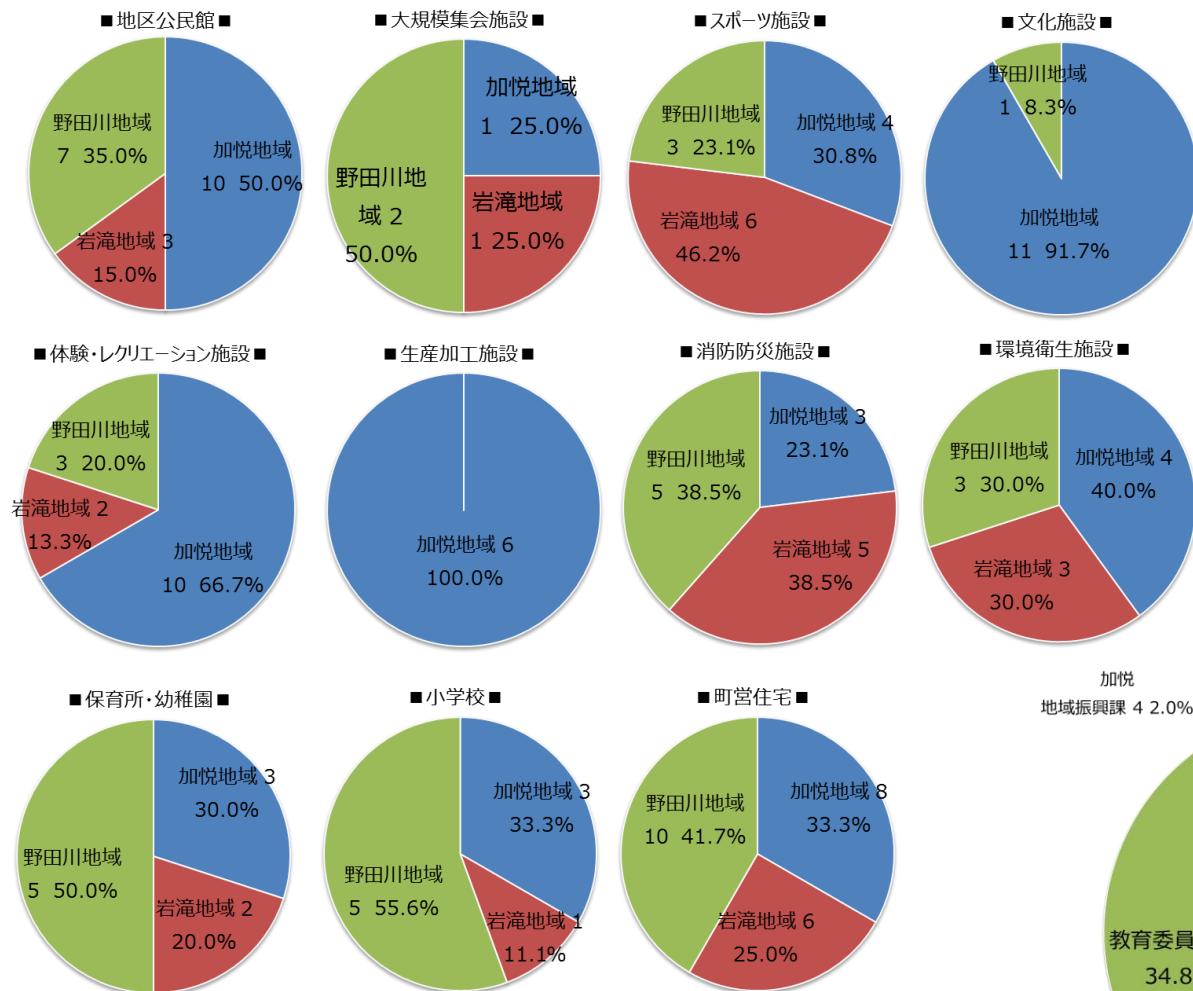
地域名		地区 公民館	大規模集 会施設	その他集 会施設	都市公園	大規模 公園	多目的 広場	スポーツ施設	文化施設
加悦地域	延床面積	2,827.2㎡	1,349.8㎡	945.5㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	1,495.2㎡	4,478.5㎡
	施設数	10	1	3	0	1	1	4	11
岩滝地域	延床面積	1,027.0㎡	2,999.3㎡	981.2㎡	356.3㎡	238.5㎡	0.0㎡	3,416.9㎡	0.0㎡
	施設数	3	1	3	9	1	0	6	0
野田川地域	延床面積	3,294.2㎡	2,583.3㎡	600.1㎡	0.0㎡	229.0㎡	0.0㎡	1,100.1㎡	369.1㎡
	施設数	7	2	3	0	1	1	3	
合計	延床面積	7,148.4㎡	6,932.4㎡	2,526.8㎡	356.3㎡	467.5㎡	0.0㎡	6,012.2㎡	4,847.6㎡
	施設数	20	4	9	9	3	2	13	12
地域名		図書館	体験・レク リレーション	生産加工 施設	庁舎	消防防災 施設	環境衛生 施設	公共交通 施設	有線テレビ 放送等施設
加悦地域	延床面積	122.6㎡	4,971.0㎡	2,546.1㎡	4,167.2㎡	457.2㎡	398.5㎡	0.0㎡	491.2㎡
	施設数	1	10	6	1	3	4	0	1
岩滝地域	延床面積	601.0㎡	3,156.4㎡	0.0㎡	2,377.9㎡	624.0㎡	306.2㎡	0.0㎡	16.7㎡
	施設数	1	2	0	1	5	3	0	1
野田川地域	延床面積	122.7㎡	1,323.6㎡	0.0㎡	2,076.9㎡	850.8㎡	933.4㎡	148.0㎡	18.6㎡
	施設数	1	3	0	2	5	3	1	1
合計	延床面積	846.3㎡	9,451.0㎡	2,546.1㎡	8,622.0㎡	1,932.0㎡	1,638.1㎡	148.0㎡	526.5㎡
	施設数	3	15	6	4	13	10	1	3
地域名		保育所・ 幼稚園	放課後児 童施設	診療所	保健センター	その他福 祉施設	小学校	中学校	給食センター
加悦地域	延床面積	2,231.8㎡	0.0㎡	0.0㎡	1,201.0㎡	872.9㎡	9,362.0㎡	4,541.0㎡	0.0㎡
	施設数	3	0	0	1	2	3	1	0
岩滝地域	延床面積	1,857.0㎡	187.6㎡	0.0㎡	800.8㎡	1,326.1㎡	6,015.0㎡	6,131.0㎡	0.0㎡
	施設数	2	1	0	1	2	1	1	0
野田川地域	延床面積	4,417.2㎡	176.4㎡	559.9㎡	0.0㎡	636.7㎡	18,048.0㎡	7,087.0㎡	764.0㎡
	施設数	5	2	3	0	2	5	1	1
合計	延床面積	8,506.0㎡	364.0㎡	559.9㎡	2,001.8㎡	2,835.7㎡	31,425.0㎡	17,759.0㎡	764.0㎡
	施設数	10	3	3	2	6	9	3	1
地域名		町営住宅	その他 施設	合計					
加悦地域	延床面積	3,495.0㎡	0.0㎡	45,953.7㎡					
	施設数	8	2	77					
岩滝地域	延床面積	5,842.0㎡	1,248.8㎡	39,509.7㎡					
	施設数	6	5	55					
野田川地域	延床面積	6,411.9㎡	564.6㎡	50,315.5㎡					
	施設数	10	2	65					
合計	延床面積	15,748.9㎡	1,813.4㎡	135,778.9㎡					
	施設数	24	9	197					

施設の配置を旧町単位で比較すると、延床面積に関しては野田川地域が最も大きくなっています。旧町時代に人口規模が最も大きかったことや旧5村に施設が点在していたことが要因だと考えられます。

一方で、施設数は加悦地域が多くなっています。旧加悦町時代に整備された体験・レクリエーション施設や生産加工施設、古墳公園をはじめとする文化施設など他の地域にはない施設が多く設置されています。

その1 与謝野町の公共施設基本情報（主な施設の配置）

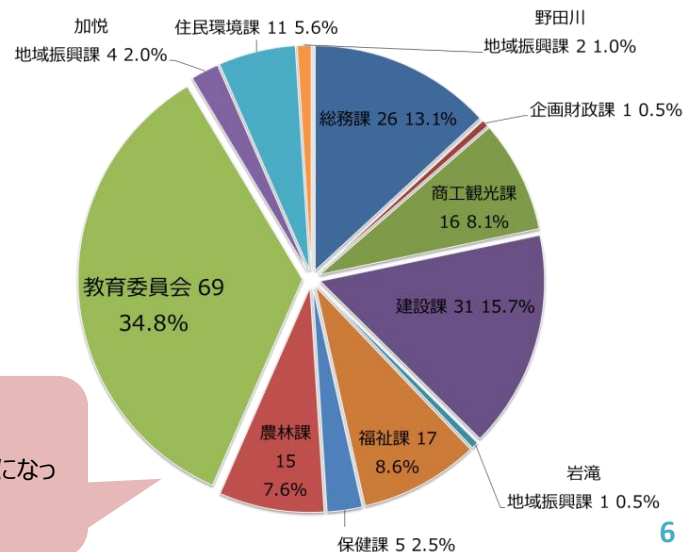
【主な公共施設カテゴリーの配置比較（旧町比較）】



主な公共施設のカテゴリー単位で配置状況を比較すると、特に偏在がみられるのが、文化施設、体験・レクリエーション施設、生産加工施設です。加悦地域に多く配置されていることがわかります。

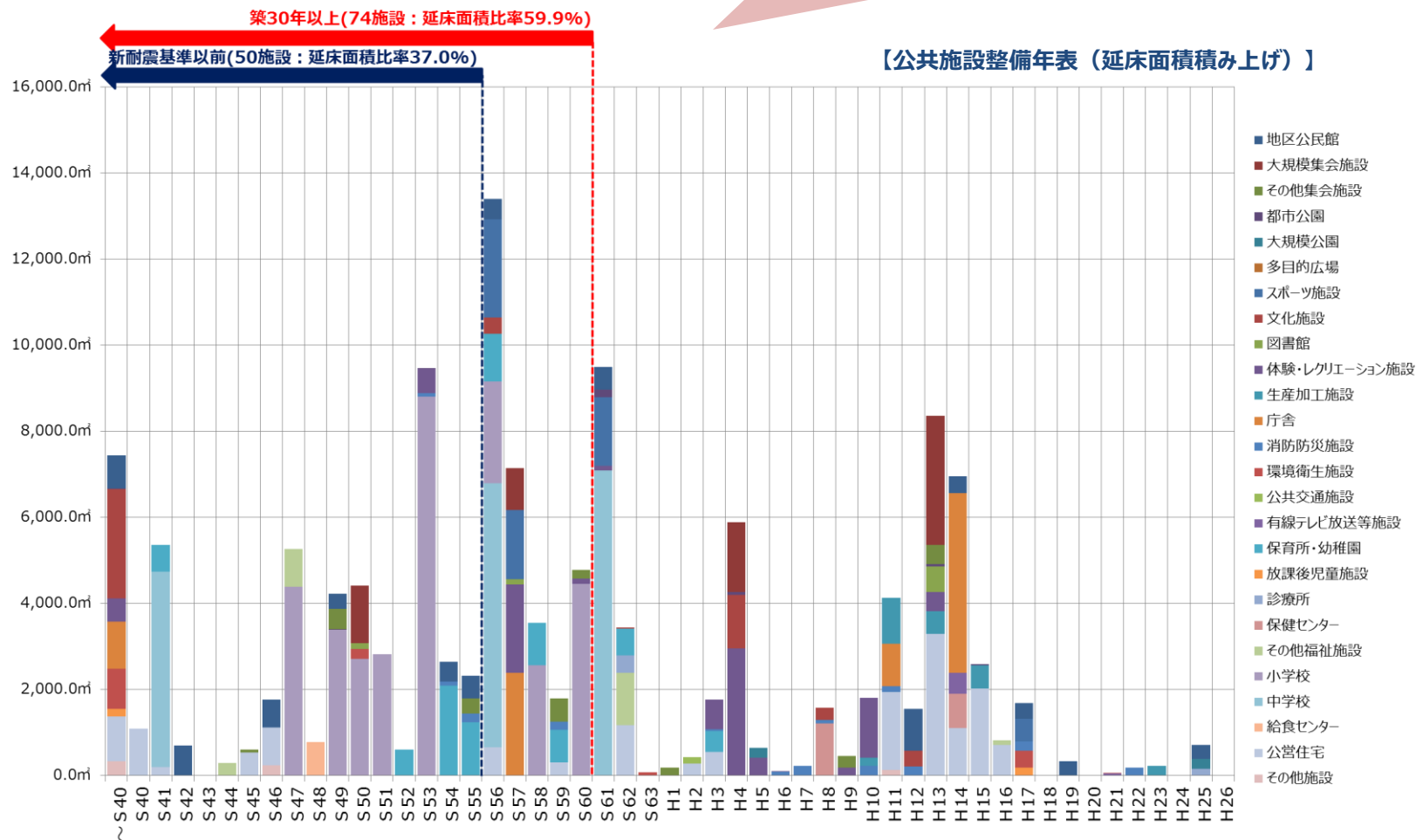
参考：管理担当部署ごとの施設数比較

学校、体育施設、文化関係、社会教育関係の施設を管理する教育委員会が大きな割合になっています。



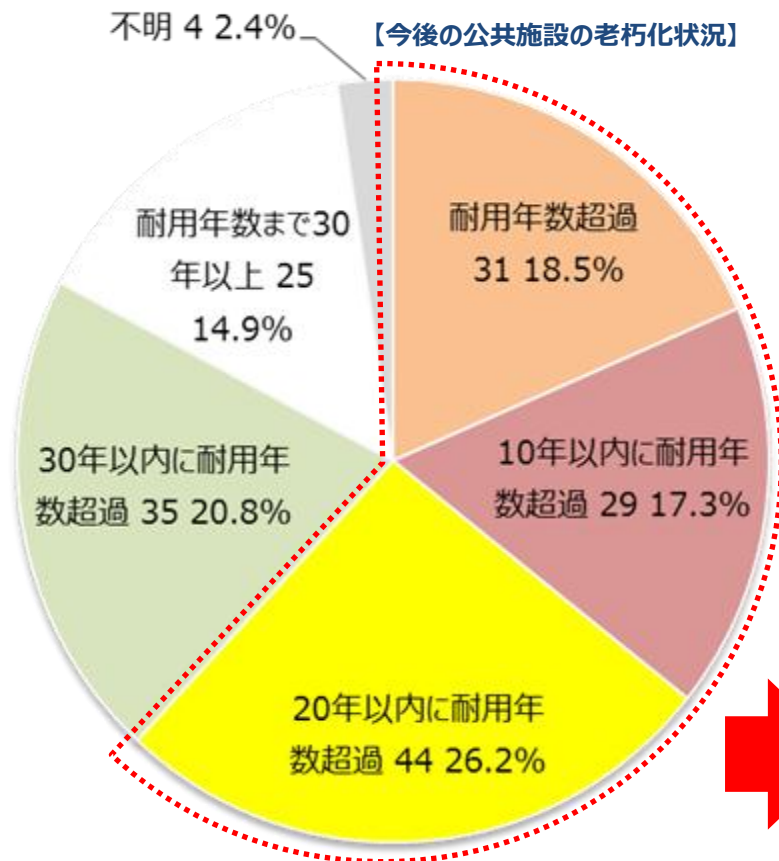
その2 与謝野町の公共施設の整備状況

与謝野町の公共施設の整備状況ですが、公共施設の整備状況を年代順に延床面積で積み上げてみました。特に30年以上経過している施設は74施設と全体数と比較した場合、それほど多くない印象ですが、延床面積で比較した場合は59.9%以上と大きな割合になっています。これは、学校施設が昭和50年～60年の期間に整備されたことが大きな要因です。



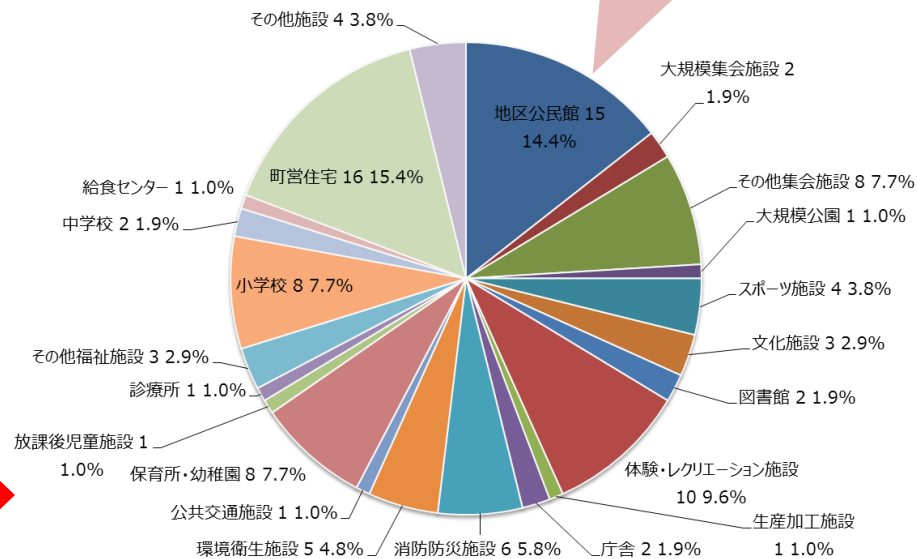
その3 与謝野町の公共施設の老朽化状況

次に、現在の公共施設がいつ耐用年数を迎えるかでまとめてみました。与謝野町の公共施設はすでに耐用年数を超過していると思われる施設が31あり、今から10年以内にさらに29施設が耐用超過となります。そこから10年後（今から20年後）には、さらに44施設が耐用年数を迎えることになり、今から20年間で73施設が耐用年数を超過し合計104施設に達します。下のグラフはグラウンドや多目的広場など白書上では延床面積がない施設などを除いた168施設について耐用年数超過となる施設の割合がどうなるかを示したものです。168を分母にしていますので、20年後に耐用年数が超過する施設の割合は62%になります。



今後20年で耐用年数を迎える104施設の施設カテゴリごとの内訳です。地区公民館、町営住宅の割合が大きくなっています。

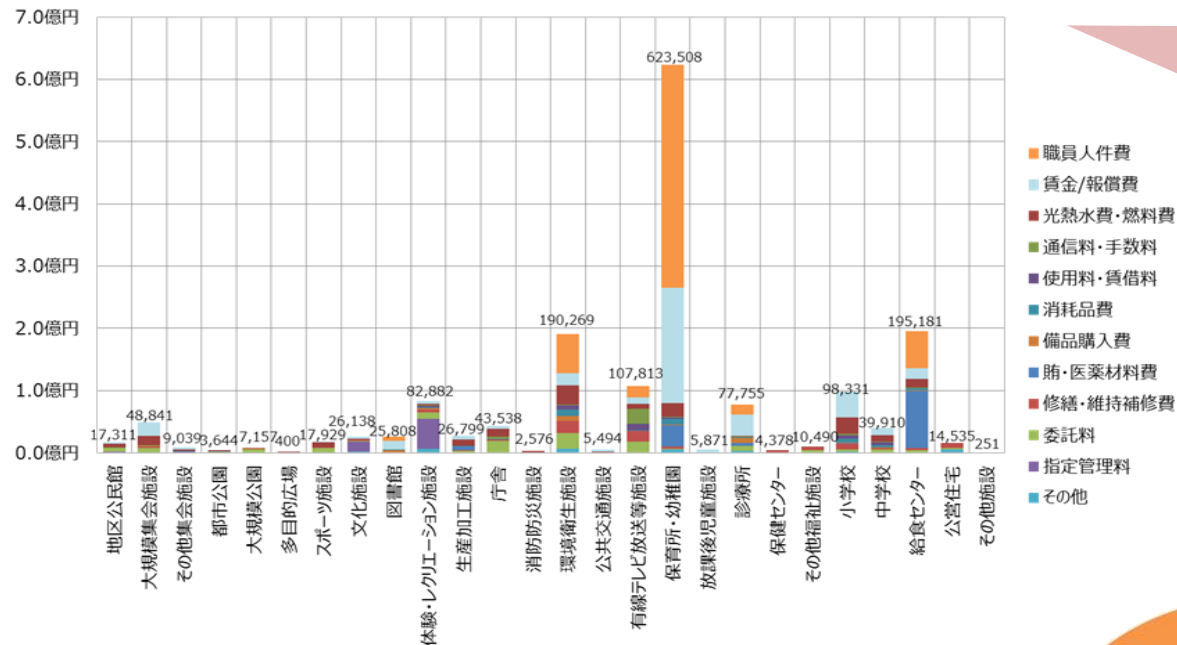
【20年以内に耐用年数を迎える104施設の 카테고리比較】



その4 与謝野町の公共施設のコスト状況

年間の管理・運営経費（平成25実績額）：約16.9億円 人口一人あたり71,883円

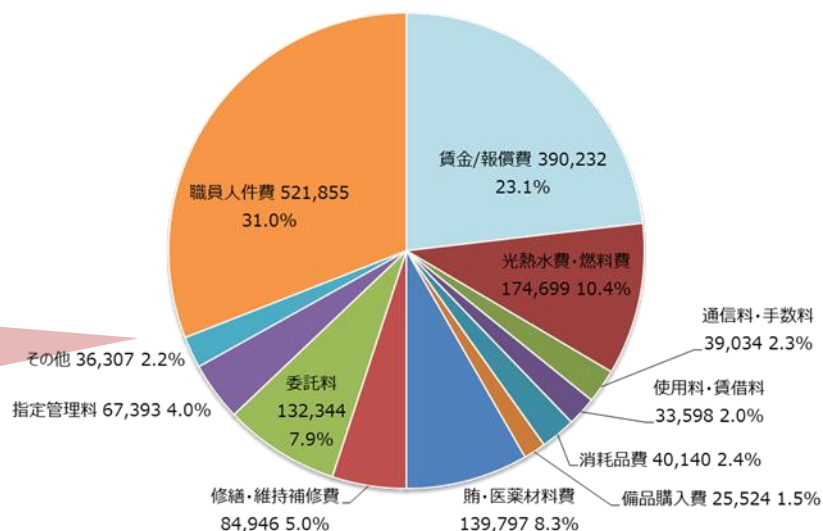
【今後の公共施設の管理コスト（施設カテゴリーごと）】



施設カテゴリーごとに比較すると保育所・幼稚園の管理・運営コストが多いことがわかります。給食センターや環境衛生施設等も大きくなっています。

コストの費目ごとに比較すると、職員人件費と臨時職員の割合が大きくなっています。これらを合わせると全体の54.1%になります。他は光熱水費や事業を行う上で必要となる賄・医薬材料費などが大きくなっています。

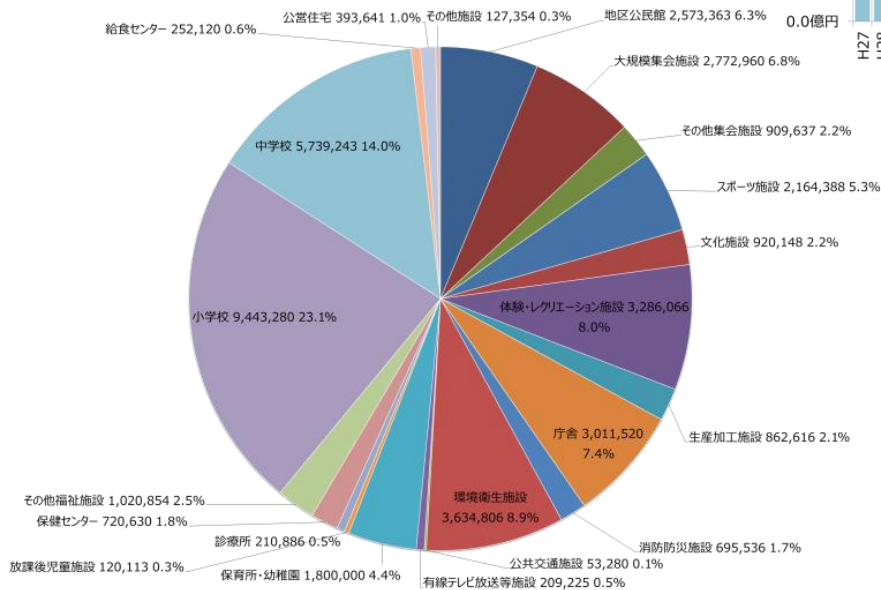
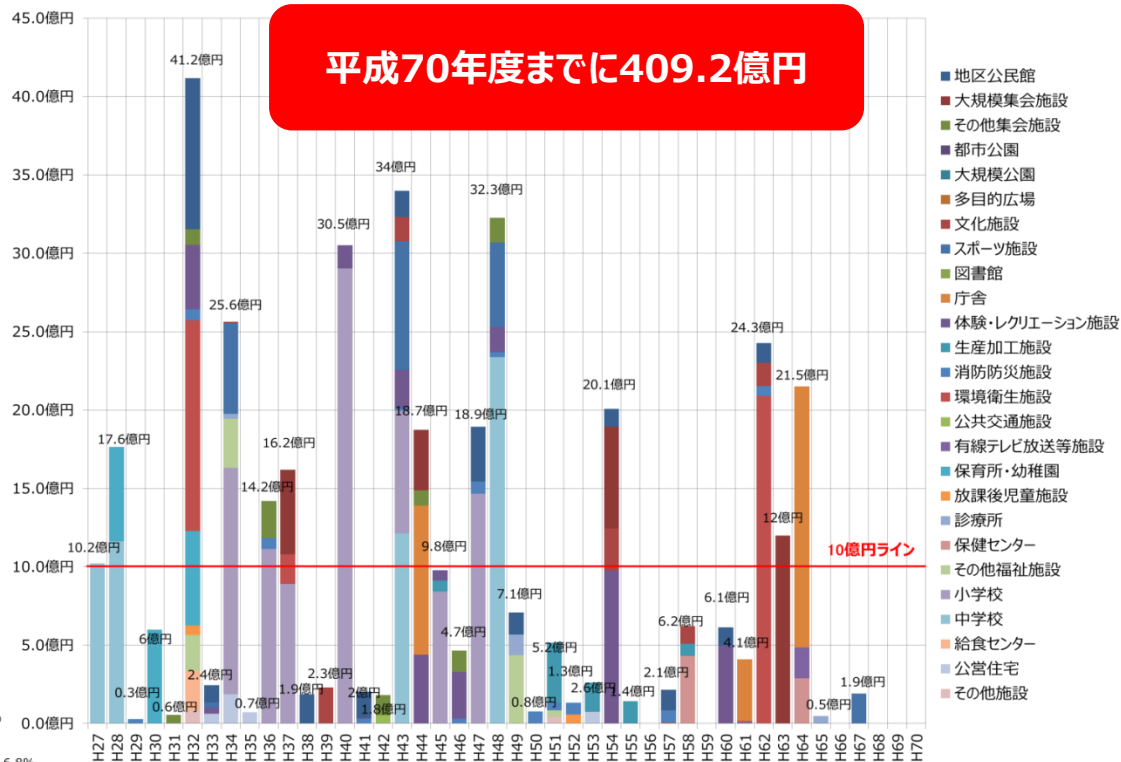
【今後の公共施設の管理コスト（費目ごと）】



その5 与謝野町の公共施設の将来にわたるコスト（公共施設の建替えコスト）

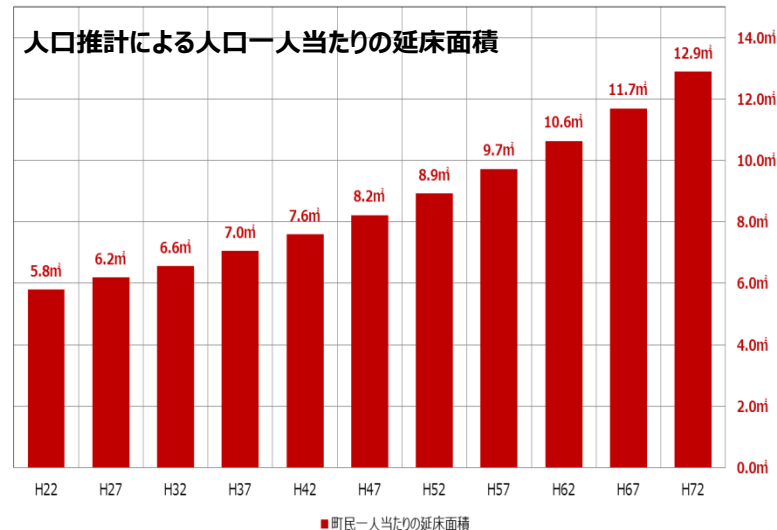
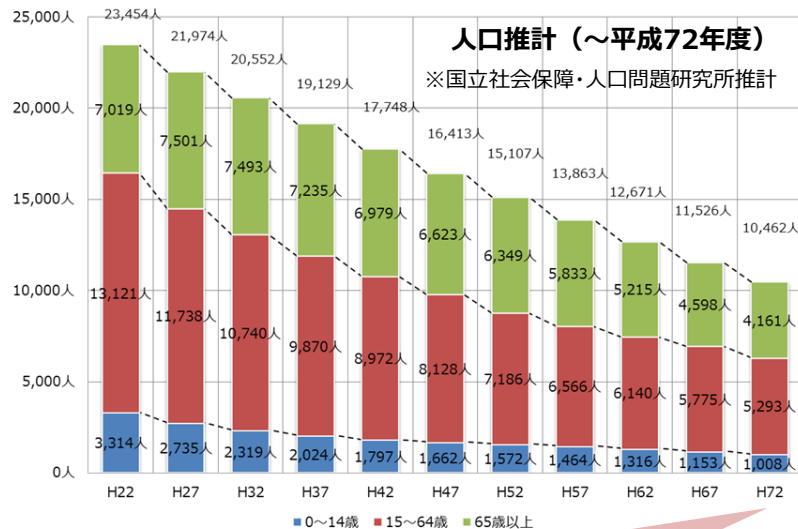
総務省が明示する公共施設の建替え単価を基に、現況施設が耐用年数を迎えるタイミングで建替えることを想定すると以下のように推移していきます。平成32年度は白書の想定上「耐用年数が到来している施設は5年以内に建替える」の5年目にあたることから41.2億円と大きくなっています。

平成70年度までに409.2億円



その6 与謝野町の現状と将来

与謝野町の人口一人当たりの公共施設延床面積：5.8㎡ ⇒ 全国平均3.42㎡
 全国平均の約1.7倍
 ※東洋大学PPP研究センター調べ



人口推計によると与謝野町の人口は45年後の平成72年には現在の半分以上、10,462人になる見込みです。一方で住民一人当たりの公共施設の延床面積を見てみると、現在（H22国勢調査人口）で5.8㎡（近隣では福知山市も5.7㎡）となっています。これは東洋大学PPP研究センターが分析した全国平均の3.42㎡の約1.7倍となっています。合併団体であり、人口規模も小さい与謝野町ではこの数値は当然高くなります。当然、現状の公共施設をそのまま維持していけば、平成72年には現在の倍以上の数値になります。それだけ住民一人当たりの公共施設保有のための負担が増えるということを表しています。

【福知山市の取組み状況】

博物館・資料館25% 消防施設30%
福知山市が用途別目標

公共施設 面積削減

福知山市は、公共施設の用途別目標（削減率）を定め、本年度から10年度までの11年度までに、削減率を4割を目標とし、削減率を達成する。

市内の公共施設は、34施設、人口10万人、延床面積約1,200㎡、平均1人当たり約3.5㎡。このうち、10年度までに、削減率を4割を目標とし、削減率を達成する。

4分野 民間譲渡や廃止も

10年度までに、民間譲渡や廃止による削減率を4割を目標とし、削減率を達成する。

（※単位：㎡）

その6 与謝野町の現状と将来

与謝野町の1年間の公共施設整備にかかるコストは3億1,757万円（平成25年度決算）

【平成25年度一般会計歳出決算】

【単位：千円】

区 分		平成25年度決算	
			構成比
義 務 的 経 費		4,937,551	44.6%
1 人 件 費		1,795,738	16.2%
うち職員給与		1,162,562	10.5%
2 扶 助 費		1,426,189	12.9%
3 公 債 費		1,715,624	15.5%
うち一時借入金利子		0	0.0%
4 物 件 費		1,883,446	17.0%
5 維 持 補 修 等		55,338	0.5%
6 補 助 費 等		1,196,225	10.8%
うち一部事務組合負担金		525,436	4.7%
7 積 立 金		270,542	2.4%
8 投 資 及 び 出 資 金		0	0.0%
9 貸 付 金		19,790	0.2%
10 繰 出 金		1,898,996	17.2%
小 計 (1~10)		10,261,888	92.7%
11 投 資 的 経 費		811,186	7.3%
うち普通建設事業費		811,186	7.3%
うち単独事業		778,021	7.0%
うち災害復旧事業費		0	0.0%
歳出合計		11,073,074	100.0%

内、白書で取り上げた
施設分約3.2億円

※現在、公共施設の整備
にあてているコスト

白書での建替え費用推計：
平成70年度までに約409.2億円

⇒ 1年平均約9.3億円

約6.1億円の差

平成25年度の一般会計決算における普通建設事業費は約8.1億円です。そのうち白書で取り上げる施設の整備は約3.2億円となっています。この3.2億円と今後建替えに必要なコストの1年平均である約9.3億円とを単純に比較しただけでも6.1億円の開きがあります。

最も単純な推計で、現行の公共施設をそのまま維持しようとする、年間約16.9億円（平成25年度をベースに横置き）の管理・運営コストと、年間約9.3億円の整備コストがかかります。人口減少による税収や交付税等の歳入が激減することが予想される中、今まで通りの公共施設の管理・運営を行うことでは行財政運営が行えなくなることは目に見えています。今後はまず、与謝野町版公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設に関する町全体の基本方針を定めて、施設カテゴリーごとの目標設定を行い実行していかなければなりません。特に現在耐用年数が経過している31施設と、今から20年中に耐用年数超過となる73施設の方針決定に着手する必要があります。

その7 主な施設カテゴリーごとの課題等

主だった施設カテゴリーの課題をピックアップしています。老朽化への対応と管理・運営方法の検討が課題になります。詳しくは、公共施設白書の各施設カテゴリーの説明をご覧ください。

○地区公民館

9施設が既に耐用年数超過しています。今後の整備方針をどのようにしていくか、地元負担もあるのが検討が必要になります。

- ・20施設 総延床面積7,148.4㎡
- ・年間管理運営コスト 1,738万円
- ・将来整備コスト 25.7億円



○大規模集会施設

中央公民館の老朽化にどう対応していくかが課題です。併設する野田川体育館、商工会館との兼ね合いもあります。

- ・4施設 総延床面積6,932.4㎡
- ・年間管理運営コスト 4,884万円
- ・将来整備コスト 27.7億円



○スポーツ施設

特に体育館の統廃合の検討が必要になります。最も古い野田川体育館、耐震補強の必要がある岩滝体育館をどうするかが課題です。

- ・13施設 総延床面積6,012.1㎡
- ・年間管理運営コスト 1,793万円
- ・将来整備コスト 21.6億円



○体験・レクリエーション施設

管理・運営方法の検討が必要です。また、集客が少なくなった施設の再生を目指すのか、廃止にするのが課題です。

- ・15施設 総延床面積9,451.0㎡
- ・年間管理運営コスト 8,288万円
- ・将来整備コスト 32.9億円



○生産加工施設

管理・運営方法の検討が必要です。さらなる投資が必要なのか、それを町が負担していくべきなのかが課題です。

- ・15施設 総延床面積2,546.1㎡
- ・年間管理運営コスト 2,680万円
- ・将来整備コスト 8.6億円



○庁舎

総合庁舎化への検討が課題です。与謝野町役場（本庁舎）の耐用年数到達が平成44年（17年後）です。

- ・15施設 総延床面積8,622.0㎡
- ・年間管理運営コスト 4,354万円
- ・将来整備コスト 30.1億円



その7 主な施設カテゴリーごとの課題等

○消防防災施設

現況の12施設（消防団詰所・車庫）をそのまま維持していくかは消防団再編の動向に影響を受けます。

- ・13施設 総延床面積1,932.0㎡
- ・年間管理運営コスト 258万円
- ・将来整備コスト 7億円



○環境衛生施設

各施設の管理・運営の在り方、野田川衛生プラントの更新についての検討が課題です。

- ・10施設 総延床面積1,638.1㎡
- ・年間管理運営コスト 1.9億円
- ・将来整備コスト 36.3億円



○保育所・幼稚園

認定こども園整備にかかるコスト、使用しなくなる園舎をどのように活用できるかが課題です。

- ・10施設 総延床面積8,506.0㎡
- ・年間管理運営コスト 6.2億円
- ・将来整備コスト 18.0億円



○小学校

小学校統合の時期と、どのような整備が必要になるかが課題です。特に野田川地域は現況施設の規模や老朽化に課題があります。

- ・9施設 総延床面積31,425.0㎡
- ・年間管理運営コスト 9,833万円
- ・将来整備コスト 94.4億円



○中学校

加悦中学校の改築で、当面の課題は解消されます。今後は生徒数減少による適正規模適正配置が課題です。

- ・3施設 総延床面積17,595.0㎡
- ・年間管理運営コスト 3,991万円
- ・将来整備コスト 57.4億円



与謝野町公共施設白書《概要版》

お問い合わせ先

与謝野町企画財政課

〒629-2292 京都府与謝郡与謝野町字岩滝1798番地1

電話：0772-43-9015（直通） FAX：0772-46-4630

E-mail：kikakuzaisei@town.yosano.lg.jp

URL：<http://www.town-yosano.jp/>